

Bonjour

● ボンジュール
ボヤージュ
{voyage}

特集 voyage

旅をしてこそ
滞在する場所を発見し、
滞在してこそ
旅をする価値に気づく。

Hitoshi TERAO

ASSOCIATION-NIIGATA FRANCE ● 発行人 ● 新潟・フランス協会
● <http://anfrance.com/> ● 新潟市中央区東堀通6-103B (丸屋本店内) ● TEL・FAX 025 (225) 2424



(株) 北方文化博物館館長
伊藤 文吉
2007年4月20日 フランス/ナント
「思い出は語りず」



大森 ゆかり
2008年5月11日
スウェーデン/ストックホルム

「ストックホルム港のほとりで」
点在するたくさんの島々の国スウェーデン。かたい岩盤でできた土地柄。ダイヤモンドの発明により発展できたのではないだろうか。

(株) イシカワ印刷社長 片桐 泰保美
2007年9月
フランス/サン・マロ

モンサンミッシェルの塔りに郡領家の原田君男夫婦から連れて行ってもらった町です。彼らも何年か暮らした町だそうでとてもかわいらしい町でした。城壁に囲まれたきれいな町です。



Bon Voyage!



小林 亨
2007年5月 フランス

「水遊びの子供」
ヨーロッパの平和・繁栄を目標する日、ヨーロッパ人としての人々。

吉田美奈栄

2005年5月

ニュージーランド/クライストチャーチ

「特出鬼没のヤングアーティスト」
引継の時間帯、ニュージーランドの砂浜に刻時間もかけて絵を描いています。



2009年11月9日~14日 フランス ナント・パリの旅

ナント市にて、アトランティック・ジャポン協会とともにナント市後援のもと、津軽三味線演奏会を開催。オペラ座での演奏を行った津軽三味線演奏家の小林史佳さんにお聞きしました。

はじめに。

津軽三味線小林史佳です。このたびは、新潟・フランス協会の皆様にも多大なるご支援を頂きまして本当にありがとうございます。ナントで演奏できたことは、私自身、貴重な財産となりました。次のステップに向けて大いに動みになりました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

Q1. ナントはいかがでしたか？街の印象や演奏会について教えてください。

ワインカーヴでの津軽三味線演奏…そのワインの味は如何のテイスト？ナントで訪れたワインカーヴで、リュスカデワイン3種類とそれぞれのワインに合ったカナッペを頂いた。本当に美味しかった。この感謝を伝えたいと思い、バスに同席三味線を持ってきた。ワインカーヴでの三味線の音はどんなものだろう。と自分自身も楽しみ、いざ、三味線を組み立て、一言出してみた。建物の特徴なのか本当に三味線の音がよく響いた。周りには、ワインを貯蔵しているタンク。そしてナントの皆さん。この貯蔵ワインには、日本の三味線の音がブレンドされたであろう。さて、そのワインの味は…

そして、グラン劇場でのコンサート。オペラ座での津軽三味線演奏も初めて。西洋の歴史やオーラを感じるステージで、日本の三味線の音も素直に受け入れてくれた。数々の芸術が行われたステージで、さんざん聞いてみると言わんばかりだった。十数名での大合奏や、クライマックスでの即興演奏。本当に気持ちの入った演奏ができたと思う。最後のカーテンコールでの拍手は、本当に忘れられない思い出となった。

Q2. 外国での演奏会で一番気を使うことは何でしょうか？

会場のお客様との一体感をどう出せるかが大切である。今回は、ナント市初演ということもあり、いい緊張感に包まれていました。そして、オープニングの曲が披露された。そのあと、私がフランス語でスピーチをした。そのスピーチに観客にいた少女が答えてくれた。メルシーボクが観客がドッと沸いた。これで今日のコンサートはいけると確信した。ライブは生き物。何が起るかを何を起こすか。そこがキズだと思っている。その少女に感謝。

Q3. 今後、挑戦したいことは何ですか？

将来的には、オーケストラとの共演を実現したいと思っている。そのために、また、色々挑戦していきたいと思っている。オーケストラと津軽三味線 協奏曲を実現できる日を以指して。



「新年例会に参加して」

池田新 新潟支店 花野 芳弘

厳冬が過ぎ、つしやふきのとうが芽ぶき始めた季節になりました。

新年例会は昨年のジャコマルクスタリノット(パティシエ&ショコラティエ)様の講演会(フランス菓子について)、今年も1月26日(火)万代シルバーホテルにて筒井ミッシェル(日仏商事)様のフランス食文化の講演会で、フランスに精通されているならではのお話でした。

ディナーでは、前日より新潟へ入って頂き、講師佐野淳子(日仏商事)様&丸屋本店パティシエ様方々による、ショコラ・パンド・ド・アリュエ・生ケーキの数々を頂く事が出来ました。

私も新潟-フランス協会例会には必ず参加させて頂いておりますが、中味の濃い例会でした。

新潟-フランス協会も近年20周年を迎えようとしています。

今後も、コンサート講演会・ワインパーティー等の益々の充実を期待する一人です。ありがとうございました。

大倉 美智子

1992年3月、新潟-フランス協会設立1周年記念のナントツアーは普通の海外旅行とは全く違っていました。アトランティック・ジャボンのメンバー達が、生活の場であるナントの街まじり教会やお城を案内し歴史も教えて下さり、そのために猛勉強したとおっしゃっていました。ローレル川から眺める古城は絵画の様に美しかったです。暖かもある素敵なお家に呼んで頂いたのは若い女性達がお料理を作ったり、運人だりしてくれた事です。女性達はいつも、居心地が良いように話しかけてくれました。市役所での歓迎会にも出させて頂き何の貢献もしていない自分が、こんなにも思いがけない素晴らしい体験させて頂けるのは新潟-フランス協会を設立して下さった方々のお蔭なのだと感じました。1995年「共和国」竹峰会がナント音楽祭に参加したツアー、1996年ナントで開催された「新潟フェア」にも参加させて頂き、それぞれ得難い体験でした。ナントでお世話になったペロニータさんとは今も文通をしています。同じくお世話になったブリジットさんが1995年秋に一人で新潟にやって来た時は榎本朋美子当時理事がホストファミリーを受けて下さり、私達もとても楽しいホームパーティーにお呼ばれし、日中は当番を決めて新潟の街を案内させてもらい、良い思い出です。

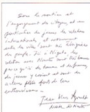
設立から19年が経ち、若いメンバーが一生懸命に会費作りやHPに取り組み姿勢を見ているのは、とても、嬉しいです。長く尽力された方も、人間関係ない方も、私に真実になれる魅力が会にあるからでしょうし、その一員にさせて頂いている事、全ての出会いに感謝申し上げます。

2009年10月26日 ナント市代表団歓迎会開催

エロー市長からのメッセージ

数年前にご来新を果たされたエロー市長。歓迎会会場にて、和やかな食会が進む中、市長のテーブルを囲みました。

当日発行したの会報Bonjour artistiqueをご紹介し、次号へのご寄稿をお願いしたところ…
「Un instant.(ちよと待って)」と、お席に座り直し、おもむろにポケットから万年筆を取り出すと、テーブル上の「本日のメニュー表」を鑑賞し、フランス語を綴り始められました。自署を終え、再び立ち上がり、「Voilà.(はいどうぞ)」と、直筆メッセージを手渡して下さいました。



(メッセージ和訳)

市民、特に若者たちが参加しなければ、国際交流、特に市と市の間の交流は人々から遠く離れた閑事です。

ここ、新潟でナントとの関係が良好に築かれているのは、男性、女性、若者、皆が信念、情熱を持って交流を進める中心人物であるからです。

ジャン・マルク エロー
ナント市長

(アトランティック・ジャボン協会 会長 オウヴェン・ツルツル)

11/26日 講師にお招きした日仏商事筒井ミッシェルさん。

18年前フランスを訪れた3人にとって、それ以来新潟での感激の再会となりました。

佐藤 裕子

小林 亜希子

思えば、はじめての海外旅行でした。まっさらのパスポートを持って、はじめて飛行機に乗りました。それが、フランス協会のナントツアーでした。

ホームビジットで家庭料理をいただいたり、チョコレート工場を見学したりしたことも…。それが、どんなに貴重な経験だったか！普通のツアーではオプショナルでも体験できないことだということもその時は良くわかっていなかったように思います。

そしていつしか18年が過ぎて、御礼を申し上げることができ。普通話に花を咲かせられる友がいる。フランスでの良い思い出に感謝です。いつかまた行く日を楽しみにしています。

いつかまた行く日を楽しみにしています。

株 小川

株 小川屋

明治乳業株

株 天朝閣

五十嵐邸ガーデン

〒951-8041 新潟市中央区本間町2-2597
TEL 025-228-1631 FAX 025-222-1051〒951-8063 新潟市中央区吉町5
TEL 025-229-0111 FAX 025-222-6831〒950-0141
新潟市江南区亀田工業団地2-1-37
TEL 025-274-6181 FAX 025-271-5616〒950-1944 阿賀野市金屋
TEL 0250-63-2100 FAX 0250-63-1600ANAクラウンプラザ
ホテル新潟

株 ホテルイタリヤ軒

にいが製菓・調理師専門学校
えぶろん

片山商事株

〒950-8531 新潟市中央区万代5-11-20
TEL 025-245-3333 FAX 025-243-0493〒951-8061 新潟市中央区西通7-1574
TEL 025-224-5111 FAX 025-224-7679〒951-8068 新潟市中央区上大川前通7
TEL 025-222-0545 FAX 025-229-3815〒950-0868 新潟市東区葉竹新町1927-24
TEL 025-274-1151 FAX 025-271-1693

2009年11月23日 秋のプチサロン

帰国報告会

白井ゆみさんの「フランスの日々」を聞いて

本村 康平

昨年11月23日、ホテル日航で一年ぶりに帰国したゆみさんの懐かしい声を知る機会を得た。彼女は08年9月19日から丸一年、娘さん一家の住む、フランス南部ガスコーニュ地方スペインに近しいポーの町に留学を果たした。娘さんの住む家は、「おとぎ話に出てくるような、郊外の落ち着いた住宅街」に在る。旅の目的は二人の娘さんたちの支援。

ゆみさんも「孫のような若者」と机を並べて、フランス語の習得に励む。勉強の合間に開かれる同人たちとの楽しいホームパーティ。定年で移り住んできた彼ら曰く「フランスで一番素敵な職業、それは退職!」。決して費沢とは言えない留學生活。それでも彼女は十分幸せな日々を過ごしたようだ。美大受験を目指すほど、小さい頃から絵を書くことの好きな少女(?)にとって、パリで絵画教室に通い、クラシック音楽を聞きながら絵筆を取っている時間は、さぞかし楽しかったに違いない。ゆみさんの醸し出す雰囲気そのままの、幻想的でしかも躍動感の有るやさしいタッチの数々の作品は、観る者に幸福感と想いを与えてくれる。彼女の大好きなモジリアニの影響だろうか。

「名所旧跡や有名な建物より裏道や抜け道に興味がある」という好奇心旺盛な彼女の土産話は、秋の一日、私にとっても得がたい経験だったのである。



2009年12月16日

クリスマス例会

チャリティバザールオークションの寄付額合計133,700円を新潟市社会福祉協議会へ寄附させて頂きました。

皆さまありがとうございます。





ラ・フォル・ジュルネ

新潟

ショパンとバロック

Chopin et la musique baroque

NIIGATA

7e-とびあ / 新潟市音楽文化会館 / 音楽祭はか
2010年 4月30日(金)・5月1日(土)

チケット発売中!
<http://lfjn.jp>

●お問い合わせ:ラ・フォル・ジュルネ新潟「熱狂の日」音楽祭実行委員会事務局(新潟市文化政策課内)
●主催:ラ・フォル・ジュルネ新潟「熱狂の日」音楽祭実行委員会 ●企画制作:CREA/KAJIMOTO TEL.025-226-2563



マドモワゼル ジュリー(J):LFJ初心者

マドモワゼル グラネッパ(V):LFJが楽しみなLFJ推薦者

- V: 新潟でラ・フォル・ジュルネ(LFJ)が初めて開催されるよ。
- J: そもそもラ・フォル・ジュルネって何?
- V: 姉妹都市ナント市で始まった音楽祭。気楽にクラシック音楽を楽しもうと1公演45分程度と短く、チケットも手軽な値段で、朝から晩まで気軽にコンサートをはしこできるよになっているよ。
- J: 新潟ではどんなことをやるの?
- V: テーマは「ショパンとバロック」。パッサの演目も多いよ。それに、新潟・フランス協会の例会でもお馴染みのアーティスト達も出演されるよ。
- J: そうなんだぜひ聴きに行ってみたいな。コンサート以外にも何かイベントがあるのかな?
- V・J: 新潟・フランス協会の担当者に聞きに行ってみよう!

※Regard de Niigata★新潟オリジナル全席
新潟市ジュニア合唱団・東京交響楽団アンサンブル(金枝五重奏)
成瀬志保・山本真貴・井上静香・桂並千花・奥村愛・
藤宮悠太郎・鈴木純子



クレープ(ガレット) 実演販売

小飯塚 眞理子

ラ・フォル・ジュルネ新潟「熱狂の日」音楽祭2010が4月30日、5月1日に開催されます。その周辺に「新潟の食と花」も同時開催されます。「文化と食」の2日間になります。新潟・フランス協会もこの音楽祭に参加することになりました。その1つ和洋食ステージに参加が決まりました。クレープとびあの空中庭園にて「ガレット実演」を行います。厳選された材料を使ってそば粉のガレットとシードルでフランス風を楽しもうと多くの方々に楽しんでもらいたいです。当日のガレット実演にお手伝いしていただく方を募集しております。音楽祭を成功にすべくために会員皆様のご協力をお願い申し上げます。ガレット実演をお手伝いしていただく方々のために当日の本番前にガレットの実習を予定しております。

- 4月17日(土) 12:30~17:00 クロス/ULSF 調理実習室
 - 4月24日(土) 12:30~17:00 クロス/ULSF 調理実習室
- ご協力していただける方はご連絡いただけると幸いです。
よろしくお願ひ申し上げます。
小飯塚 TEL/FAX 025-280-8002

まちなか 交流ステージ

- 吉町7番町に特設ステージを設置
- 新潟のアーティストの紹介と演奏
 - ナント・ブザーチャレツアー

吉町7番町にナント市の紹介コーナーを作り、プロジェクターを使ったガイド。またナント写真展も開催します。

(担当 酒井真里)

ラ・フォル・ジュルネ新潟
アーティストック
ディレクター

ルネ・マルタン

2009年10月26日
ナント市代表団歓迎会
(左から2番目)



ラ・フォル・ジュルネ(熱狂の日)音楽祭 ~ショパンとバロックの調べあふれる2日間~

白井 ゆみ

15年前にフランスのナント市で産声をあげ、その後東京・金沢を含めた世界6都市で文字通りの熱狂的な支持を得ている音楽祭がついに新潟でも開催されることになりました!一流の演奏家が世界中から集まり、お手頃なチケット代・魅力的なプログラムで、3Bの演奏会がらびあとびあコンサートホールを中心に行われます。長年ナント市と交流を続けてきた当協会の活動が姉妹都市へと繋がってきた成果でもあり、音楽愛好家のみならず文化的な祭りとして新潟の地にこの音楽祭が根づくことを願っております。多くの皆さまのご協力をお願い申し上げます。

ボランティア募集 開催日2日間の中で、1日、半日、あるいは数時間でもお手伝いいただける方、ご友人(非会員)にもお誘い頂ければ幸いです。
白井 真希080-2079-9486 FAX 025-225-5133
E-mail shiraiyumi719@hotmail.co.jp

ガレットについて

フランスの美味しい食べ物の品々の中に代表的なお料理にクレープまたはガレットがあげられます。フランスに行かれた経験のある方々は、何故か本場のクレープまたはガレットを食べたいと思いませんか。ナント市は、ロワール地方にあります。そのお隣のブルターニュ地方は、フランスを代表するクレープの発祥地です。今回は、ブルターニュ県でお楽しみいただく予定です。ガレットは、そば粉100%を薄く焼き、ベーコン、タマゴ、チーズを載せて作ります。これをりんごから造られる発泡酒のシードルと共に召し上がっていただく予定です。

